

おうえめ

市議会だより

主な内容

- 5月招集議会、6月定例議会のあらまし
市長提出議案の主な内容
- 一般質問
- 審議された議案と議決結果
特別委員会、全員協議会から
- 9月定例議会会議予定

No. 242

平成30年(2018年)8月5日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

平成30年青梅市議会定例会5月招集議会・6月定例議会

平成30年度一般会計補正予算など 全11議案を可決しました(6月定例議会)

議場でミニコンサートを開催しました 6月定例議会初日の本会議前に「青梅議場ミニコンサート」を行いました。出演は、「アロハスターズ」のみなさん。抒情歌やハワイアンのほかフラダンスもあり、華やかで楽しいひとときとなりました。



5月招集議会は、5月11日に行われ、平成30年市議会定例会の会期が平成30年5月11日から平成31年4月30日までの355日間と決定しました。5月招集議会には市長提出議案1件が上程され、原案どおり可決されました(6面を参照)。

また、6月定例議会は、6月8日から25日までの18日間の期間で行われ、初日の本会議では、議案審議の後、一般質問が始まりました。

一般質問は、6月8日、11日および12日の3日間にわたって行われ、18人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2~5面に要旨を掲載)。

6月定例議会に上程された市長提出議案は、補正予算1件、条例4件、その他6件で、いずれも原案どおり可決されました(6面を参照)。

市長提出議案の 主な内容

■平成30年度青梅市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5509万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ503億5509万3千円とするほか債務負担行為1件を廃止、市債1件を追加しようとするもの。

【歳入】

都支出金
◇学校における働き方改革推進事業補助金の増等 7649万円増

繰入金
◇財政調整基金取りくずしの増 4000万円増

市債
◇生活道路災害復旧事業債の増 3860万円増

【主な歳出】

教育費
◇学校教育指導経費 3092万円増
◇学力向上対策事業経費 1030万円増

◇教育情報システム経費 7482万円増

災害復旧費

◇災害復旧経費 3984万円増

【債務負担行為の廃止】

◇校務支援システム賃貸借

【市債の追加】

◇生活道路災害復旧事業債

■青梅市議会議員および青 梅市長の選挙における選挙 運動の公費負担に関する条 例の一部を改正する条例

(施行日)「①の改正」公布の日、「②の改正」平成31年3月1日
公職選挙法および公職選挙法施行令の改正に伴い、

所要の規定の整備を行うものとする。
【改正の内容】
①選挙運動にかかる公費負担の限度額を次のように引き上げる。

区分	改正後	現行
自動車の借入れ	15,800円	15,300円
燃料供給	7,560円	7,350円
ビラ作成 (市長選挙のみ)	7.51円	7.30円
ポスター作成	企画費 310,500円 印刷費 525.06円	企画費 301,875円 印刷費 510.48円

②選挙運動にかかる公費負担の対象に「市議会議員の選挙におけるビラの作成」を追加する。

作成単価	作成枚数
1枚当たり 7.51円	法に定める枚数 (選挙管理委員会に届け出た2種類以内のビラ 4,000枚) の範囲内

■青梅市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(施行日)公布の日)

国が定める「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。

【改正の内容】

児童福祉法の規定により、国が定める基準に従い、定めることとされている「放課後児童支援員の基礎資格要件」のうち、「学校教育法の規定により、幼稚園、小・中学校等の教諭となる資格を有する者」とあるのを、「教育職員免許法

第4条に規定する免許状を有する者」に改めるとともに、「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であつて、市長が適当と認めたもの」を新たに追加する。



議会日誌

5月招集議会

【5月】
議会期間5月11日(1日間)
11日 議会運営委員会
本会議(開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、議案審議、閉議)
環境建設委員会
議会運営委員会
29日 議会運営委員会
【6月】

6月定例議会

議会期間6月8日~25日(18日間)
8日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、一般質問)
11日 本会議(一般質問)
12日 本会議(一般質問)
13日 福祉文教委員会
環境建設委員会
総務企画委員会
15日 予算決算委員会
全員協議会
19日 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会
25日 総合病院建替特別委員会
議会運営委員会
本会議(委員会議案審査報告、議案審議、閉議)
福祉文教委員会



質 問

2025年問題を見据えた 対応について問う —超高齢社会に向けた 市の対応について—

天沼 明 議員 (自民)

議員 ①青梅市の超高齢社会の現状をどのように認識し、市政運営をどう進めていく考えか。

②特に市民の関心が高い、介護健康、公共交通の分野における現状と今後の取り組みを伺う。
③元気で活力ある青梅を目指す市長の思いを伺う。

市長 ①団塊世代の全てが75歳以上の後期高齢者となる2025年には、青梅市においても3人に1人が65歳以上の高齢者となり、5人に1人が75歳以上の後期高齢者となると予測している。この厳しい状況であるからこそ、歩むべき道を誤ることのないよう真摯に向き合い、前例踏襲でない市政運営を行わなければならない。公共交通については、引き続き確保維持のための利用促進に取り組んでいく。

青梅市における所有者不明の 土地問題について問う

結城 守夫 議員 (公明)

議員 ①全国における土地所有者不明率は約20%であり、面積は九州を超える約410万ヘクタールと想定されている。市内においては、地籍調査の所有者立会通知の返送件数から、所有者不明の土地はどの程度存在すると推測するか。
②追跡調査を行えば、相応の経費と時間の損失がある。国はそ

②所有者不明の土地問題により、市政に具体的な支障が生じた場合には、プロジェクトチームの設置について検討していくとともに、国に対しても市長会等を通じて、速やかに要望していく。
公文書管理制度の改革について問う
議員 国においては、財務省の

議員名の()内の表示は、会派名または党派名です。
(自 民) …自民クラブ
(公 明) …公 明 党
(フォーラム) …改革フォーラム
(共 産) …日本共産党青梅市議団
(国 民) …国民民主党
(みどり) …みどりのオンブズマン

環境美化の推進について問う —犬のふん対策について—

山田 敏夫 議員 (自民)

③超高齢化の進展を踏まえた総合的なまちづくりを進め、高齢者の方々が、いつまでも元気で地域で輝いているまちとなる施策の推進に鋭意努力していく。

議員 ①先日、市役所前庭の市民広場に犬のふんが放置されていたので市に伝えましたが、その後どのような対策を取っているかまた、飼い主への啓発活動はどのように行っているのか。
②ふんの周りをチョークで囲み発見日時を書くことで飼い主への警告とし、ふんの放置を減らす取り組みを行っているかどうか。
③毎年実施する狂犬病予防集合注射の際にチラシを配布する等、

決裁文書の改ざん等、公文書管理の不祥事が多発している。市の現行の公文書管理においても「文書作成義務」や情報公開を前提とした公文書チェック体制が定められていない。市の公文書は市民共有の知的資源であるとの認識に基づいた、新たな青梅市公文書管理規則を制定する必要があるのではないか。
市長 公文書管理法の趣旨に基づき公文書管理規則を制定し、現在見直しを行っている市情報公開条例の施行と合わせて、来年4月から施行する準備を行う。

青梅市障がい者差別解消条例(仮称)制定の取り組みについて問う
議員 ①青梅市障がい者差別別

用語の解説

- 注1…所有者不明の土地** (2ページ・結城議員)
不動産登記簿の所有者台帳により、所有者が直ちに判明しておらず、または判明しても所有者に連絡がつかない土地。
- 注2…合理的配慮の提供** (2ページ・結城議員)
障害のある人が日常生活や社会生活を送る上で妨げとなる社会的障壁を取り除くために、状況に応じて行われる配慮のこと。
企業等は、障害のある人から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度な負担になり過ぎない範囲でこの配慮を行う。
- 注3…パートナーシップ制度** (3ページ・鴻井議員)
パートナーシップとは、同性カップルを意味し、法的な婚姻関係とは異なるものの、婚姻関係に相当するものとしてパートナーの関係を認める制度。
- 注4…献血** (3ページ・迫田議員)
血液は生きた細胞であるため人間の体の中でしか造られず、また、輸血用血液は長い間保存することもできない。安全かつ有効な輸血療法を行うためには、献血による血液が必要となる。
献血の要件は、400mlの全血献血の場合、男性17歳以上、女性18歳以上、いずれも69歳までで、体重は男女とも50kg以上とされ、男性は年間3回以内、女性は2回以内とされている。
- 注5…感震ブレーカー** (4ページ・湖城議員)
地震発生時に、設定以上の揺れを感知すると電気を自動的に止める装置。分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプなど、種類によって機能や特徴は異なるが、地震が発生した際の電気火災を防止するための手段の一つとなる。設置に当たっては、夜間に電気が遮断されても作動する足元灯や懐中電灯などの照明等の確保や、情報を入手するためのラジオ等を常備するなど、安全の確保に留意することが大切である。
- 注6…AR (Augmented Reality: 拡張現実)** (4ページ・片谷議員)
アプリケーションを活用し、写真にスマートフォンやタブレット端末のカメラをかざすと、写真にリンクされた音声付きの動画が視聴できるもの。紙媒体では表現できない内容や、写真だけでは説明が困難な内容を動画や音声を付加することにより、限られたスペースで幅広くより具体的にイメージを情報伝達できる。
- 注7…こども食堂** (5ページ・山内議員、みねざき議員)
地域の子どもに無料あるいは低額で食事を提供する場所。そのほか、学習支援等を行うなど、地域の居場所としてさまざまな形態で実施されている。
現在、青梅市では2カ所で開催されており、いずれも市内の社会福祉法人が社会貢献・地域貢献として運営している。

高齢者クラブの課題と 活性化について問う —加入者増加策と事務手続 の簡素化等について—

島崎 実 議員 (自民)

議員 ①加入者が減少している要因をどう捉えているか。
②会計事務の煩雑さについて市はどのように認識しているか。
③補助金申請に係る書類作成等を簡略化できないか。
④実績報告審査の書類事前提出の導入はどうであったか。
⑤今後の支援策について伺う。
市長 ①役員等を務めたくないことから加入しない、との声もあると伺っている。
②補助金の関係で書類が複雑になっており、役員の引き受けを断られる理由の一つとされていることは承知している。これを受け、市では補助金説明会を毎年実施するとともに、書類作成の相談にも個別に応じている。
③都へ要望しているが、現時点

活での差別や偏見を感じていた企業においては、法制度の認知はあったが、差別解消のための合理的配慮の提供については、あまり認知されていなかった。
③同協議会の意見や市民の声を聴取して、来年度中を目途に結論が出せるよう検討していく。

啓発を強化してはどうか。
④市の幹部職員が毎朝市民広場のふんの清掃を行っているかどうか。また、監視カメラを設置してはどうか。
市長 ①委託先の清掃員および警備員により適宜清掃を行っているが、毎日、朝昼夕方の3回

巡視を行い、犬のふんが放置されていた場合には速やかに除去するよう対策を講じたところである。また、市民広場に新たに注意喚起の看板を設置した。犬のふん尿対策については、青梅市ホームページのほか、おうち環境ニュースや環境政策課では進展していない。
議員 ①待ち時間の短縮を図るため、今年度は事前提出を受け付けたが、来庁回数が増えるなど負担が増したと認識されてしまったケースもあり、改善していく。
②書類作成の相談等を継続するとともに、青梅市高齢者クラブ連合会と連携し、負担軽減に向けた対応策等を検討していく。
③29年度末の登録件数は2031件である。高齢化や店舗の閉鎖等により登録件数が減少傾向にあるため、市民の認知度の向上に努めるとともに、保護者に対して協力を働きかけていく。
③青色防犯パトロールの実施、スクールガードリーダーの配置など、これまでさまざまな施策を実施してきた。今後とも教育委員会が中心となって施策を強化していくとともに、地域ぐるみの対策を市長部局とも連携して構築していく。

児童・生徒の通学の 安全確保について問う

議員 ①通学路への防犯カメラの整備について伺う。
②青梅子ども110番の家について現状と今後の拡大策を伺う。
③悲惨な事件が起きないように、取り得る手段を総動員していくべきと考えますが、見解を伺う。

次期地域福祉計画について問う

一 地域福祉コーナーの設置を一

鴻井 伸二 議員 (公明)

に導くつなぎ役として、重要な役割を担うものと認識しており、次期計画に盛り込み、具体的に検討していきたいと考えている。

SOGI(性的指向と性自認)の諸問題について問う

議員 ①市の労務管理上の取り組みの現状について伺う。

②申請書や証明書等の帳票の性別記載欄の必要性を検証しては

③学校現場における取り組みの現状について伺う。

④パートナーシップ制度について、民間企業等で導入の動きが広がっている。市としても、幅広い視点での取り組みが必要

と考えるが、見解を伺う。

市長 ①現時点では特に行っていないが、ハラスメントの防止研修を実施していくとともに、福利厚生、休暇等の制度設計に

は、いくらにすべきと考えるか。

③さまざまな人口減少抑制策、生産年齢人口の増大を狙った転入者を呼び込む施策を

行っている中で、最も重要かつ効果的と

考えている施策は何か。

④青梅インターチェンジ北側の整備は今後の最重要課題の一つとして、早期実現を目指していくという

市長 ①将来の財政規模を推計するにはさまざまな要素を考慮

する必要があるため数字で示すことは困難であるが、徐々に縮

小していくものと想定している。

②さまざまな事情を考慮し今後精査していくが、現時点では4

80億円から500億円程度の規模になるものと想定している。

③梅の里の再生・復興、圏央道青梅インターチェンジ北側の整

ついて、広く民間企業の動向など情報収集に努めていく。

②16年度に、法令等に性別記載が定められているものを除き、性別記載欄を削除している。

④今後、関係部署の横断的な取り組みを進めていく。

教育長 ③性については多様性があることを理解させるとともに、偏見や差別をなくし全

ての市民が尊重される社会を実現することの大切さを指導している。

議員 ①生産性向上特別措置法が制定され、企業が先端設備等導入計画の認定を受けて設備投資を実施すると補助金が受けられるが、現在の申請状況を伺う。

②計画の作成指導や推進をどう考えるか。積極的に事業の活用を図るべきではないか。

③事業承継支援や既存企業の留め置き策などを推進すべきではないか。

市長 ①青梅商工会議所で支援し申請となった件数は、28年度5件、29年度0件、30年度が現

時点では3件となっている。

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

②少子高齢化が進むにつれ輸血用血液が不足することが予測される。特に若い世代を対象とした啓発活動について伺う。

③献血と併せて骨髄ドナー登録

市営献血について問う

議員 ①市内における29年度の献血者数を伺う。

シティプロモーションの取り組みと「訪れたい、暮らしたい、住み続けたいまち青梅」の実現に向けて

工藤 浩司 議員 (フォーラム)

議員 ①これまでの活動の成果と課題について伺う。

②青梅ブルーの具体的取り組みと市民への展開について伺う。

③先進事例の調査研究について伺う。参考にした事例はあるか。

④現状と今後の取り組みを伺う。

市長 ①青梅市出身の篠原とも

会を実施してはどうか。

市長 ①受付者1665人のうち献血者は1433人であった。

②全国で実施される「はたちの献血」キャンペーンについて、広報おうめやポスターの掲出により周知啓発に努めている。

③早期実施に向け、東京都赤十字血液センターと協議していく。

④中央図書館内の空きスペースや玄関マット、貸出レシート等についてはどうか。

市長 ①広告掲載等による新たな独自財源の発掘は、現下の厳しい財政状況を踏まえると率先して取り組むべき課題の一つと認識している。その中で、青梅市ネーミングライツの付与に関する指針を30年2月に策定し、積極的に取り組んでいくこととしたところである。

②新設する施設で注目度が高く、市民等に多く利用していただく施設でもあることから、今年度

公募を行うこととした。

③いくつかの課題もあることから、今後先進事例を参考に検討する。なお、今年度作成予定の雑誌掲載に向けて準備を進めていく。

④全体の景観を考慮して整備しており、考慮する必要がある。

⑤今後の全体的な施設の改修等の影響を考慮する中で検討する。

教育長 ⑥今後、指定管理者と連携を図りながら進めていく。

たつての調整や課題等を伺う。

③今後の東青梅駅周辺のまちづくりに向けた市長の思いを伺う。

市長 ①4月26日に井上信治衆議院議員と共にJR東日本本社を訪ね、常務と面会し要望を行った。この面会で、2023年に予定しているグリーン車の導入に併せ、建て替えを行えるよう市とも協議を進めたい、との前向きな回答を得られた。

②新たな管理区分や費用の負担割合、グリーン車の導入に係るホームの改修計画との調整、スケジュール等について、今後も協議を進めていく。

③新たな駅舎を中心に、利便性や交通アクセスの向上が図られ、地域のポテンシャルを高めることと、賑わいの創出とともに魅力ある中心市街地を形成し、市のさらなる発展につなげていく。

企業誘致について問う

議員 ①青梅市企業誘致条例の成果と課題について伺う。

②市内の用地に対する課題について、今後の方向性を伺う。

議員 ①青梅市企業誘致条例の成果と課題について伺う。

②市内の用地に対する課題について、今後の方向性を伺う。

東青梅駅舎の建てかえに対する市の取り組みについて問う

山崎 勝 議員 (自民)

議員 ①2月議会で一般質問を行ったが、その後4月にJRへ行った要望について詳細を伺う。

②今後、取り組みを進めるに当

し、より効果が高められるよう創意工夫し、戦略的に取り組む必要があると考えている。

議員 ①計画策定に向けた29年度の準備状況について伺う。

②専任職員の配置、専任部署の設置の考えについて伺う。

③市民を対象とした意識調査の実施について伺う。

④計画策定に向け、市長の決意や思いを伺う。

市長 ①都の説明会に参加するとともに情報収集に取り組んだ。現時点においては関係各課の連携による対応を継続していく。

③市単独で実施する予定はない。

④今年度中に計画を策定し、私自らが先頭に立って、自殺防止

たつての調整や課題等を伺う。

③より成果を挙げていくために、どう取り組んでいくか。

④市長のトップセールスが重要と考えるが、意気込みを伺う。

市長 ①これまでに企業3社が合計105人の市民を採用して稼働したほか、市内企業1社が事業所移転に当たり条例の申請を行った。誘致企業の業績も伸び、採用者も増加する等、さまざまな形で好影響を与えている。一方、現状では、企業を誘致するにも相当規模の土地がないことが大きな課題である。

②黒沢峠石場跡地および今井4丁目地区を産業用地として早期に整備していくことが大変重要とされており、今後も関係機関等と協議を進めていく。

③青梅市、羽村市、瑞穂町で構成する圏央道青梅インターチェンジ活用による産業効果研究会における研究成果を、具体的な企業誘致に結び付けていけるよう連携を強めていく。

④市民生活の向上や地域の活性化に向け、私自ら先頭に立って課題解決に取り組んでいく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

青梅市職員の勤務時間 休日休暇等に関する条例への不妊治療休暇制度の創設について問う

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。

②青梅市版働き方改革の一環として、不妊治療休暇制度の導入について議論してはどうか。

市長 ①現在のところ特になく、職場での理解を深めるとともにプライバシーに配慮する中で不妊に悩む職員の働きやすい環境を整備することが必要と考える。都をはじめ多摩26市においては、現時点で導入実績はなく、今後、職員安全衛生委員会において、産業医や委員からその必要性について意見を聴取していく。

議員 ①不妊治療に対するルールや取り組みはあるか。



青梅市公式キャラクター ゆめゆめちゃん



議員 ①計画策定に向けた29年度の準備状況について伺う。

スマートフォンやパソコンを活用した「いじめ・自殺相談」で子どもたちの命を守る取り組みを 湖城 宣子 議員 (公明)

議員 ①子どもたちのいじめや自殺相談の現状を伺う。
②今年度から実施されるSOSの出し方の授業について伺う。
③都で行われるLINE相談の周知について伺う。
④いじめの早期発見のための通報アプリを導入してはどうか。若者のコミュニケーションはSNSに移行してきており、相談

市内公園の活性化について問う 片谷 洋夫 議員 (国民)

議員 ①都市公園法改正後の、公園内の活性化等に向けた取り組み状況について伺う。夏に向け、飲食店などに試験的に出店してもらってはどうか。
②市内にドッグランの設置を望む声があるが、考えを伺う。
市長 ①現時点においては、民間活力を導入した公園の活性化、カフェなどの設置、公園利用者との協議会の立ち上げ等について情報を集めている段階である。今後、さらに先進地の視察等、情報収集に努めるとともに具体的な検討に取り組んでいく。

しやすい方法との観点からも、検討してはどうか。
教育長 ①29年度のいじめに関する相談件数は、小学校14件、中学校17件、教育相談所3件、自殺相談は、小学校1件、中学校6件であった。学校で相談を受けた場合は、担任や他の教員、養護教諭、スクールカウンセラー等、複数で情報を共有し見守る体制を整え、対応している。また、保護者とも連絡を密にして、内容により立川児童相談所等とも連携し、不安や悩みを解消していけるよう努めている。
②都から配布された指導資料や附属のワークシートを活用して、自分や友達がつらい気持ちになったとき、それを軽くするためにどのようなことをしているか、自分の考えを書いたり、グループで考えを交流したりして

いる。こうした学習を通じて、自分なりのストレス解消法を見つけたら、自分で解決できないときには1人で抱えずに相談できるようなると考えている。
③学校を通じてチラシを配布し、周知していく。
④今後、先進市の取り組みについて情報収集し、効果等を検証して対応を図っていく。

ガイドを作成したところである。また、経済的自立への支援については、きめ細やかな就労相談と、子どもの居場所づくりへの取り組みが重要と認識している。
③ハローワークとの連携強化に努め、今年度中に共催事業を開催できるよう進めていく。

②市内には規模の小さい公園が多く、スペースを確保できる公園が少ないこと、ほとんどの公園が周辺を住宅地に囲まれており、周辺住民をはじめ他の公園利用者の理解が必要なことなど、環境や衛生、安全面での課題もあるが、ドッグランのニーズがあることは認識しており、市が所有する公共用地等への設置を含め、幅広く研究していく。

②ひとり親家庭に対する施策の情報周知については、ポケット内容となるよう、AR記事を掲載していく。また、シティブロモーション活動による青梅の魅力発信の取り組みの中で、先進事例等を情報収集した上で、活用を検討していく。
②導入に当たっては初期経費や維持費が必要なことから、他市の状況等を確認し研究していく。

②ひとり親家庭に対する施策の情報周知については、ポケット内容となるよう、AR記事を掲載していく。また、シティブロモーション活動による青梅の魅力発信の取り組みの中で、先進事例等を情報収集した上で、活用を検討していく。

市の情報発信におけるAR拡張現実の活用について問う
議員 ①現在の活用状況と今後の活用に向けての考えを伺う。
②市内観光地等でARを使い昔の映像をスマートフォンで見られるようにしてはどうか。
市長 ①28年3月15日号の広報おうちからARを活用した動画配信を導入した。これまでに、梅つこ体操、青梅市納涼花火大会、青梅マラソン等の記事で、28年度は11回、29年度は12回、掲載している。今後も引き続き親しみやすく、より魅力ある内容

消防団ポンプ車の運用について問う—準中型免許の導入への対応について—
議員 ①道路交通法の改正により準中型免許が新設されたが、消防団車両の運用における影響や今後の課題について伺う。
②市内消防団車両の現状を伺う。
③団員の免許取得に対する補助制度を検討してはどうか。

が想定される。なお、現時点では、消防団車両の運行に支障が生じているとの報告はない。
②消防団各部に配備している車両40台のうち、準中型免許の対応となる車両は19台である。
③補助条件や制度の公平性と実効性を含め、課題を整理するとともに、消防団本部と十分協議していく必要がある。国の動向等を踏まえ、具体的な内容や取り組み方法等について、情報収集に努めていく。

小中学校のトイレの状況について問う 大勢待 利明 議員 (フォーラム)

議員 ①小・中学校のトイレの現状と今後の方針について伺う。
②洋式化だけでなく、綺麗で清潔なトイレ環境にすべきと考えるが、現状の取り組みを伺う。
③予算の一点集中を図り、早期に整備すべきと考えはどうか。
教育長 ①洋式化率は29年度末現在、約35%であり、今後は、2023年度までに順次改修を行う予定である。三小、五小、成木小は完了しており、今年度一、三中で改修を行っていく。



改修されて綺麗になったトイレは、児童や保護者、教職員からも大変好評とのこと。

議員 ①小・中学校のトイレの現状と今後の方針について伺う。
②洋式化だけでなく、綺麗で清潔なトイレ環境にすべきと考えるが、現状の取り組みを伺う。
③予算の一点集中を図り、早期に整備すべきと考えはどうか。
教育長 ①洋式化率は29年度末現在、約35%であり、今後は、2023年度までに順次改修を行う予定である。三小、五小、成木小は完了しており、今年度一、三中で改修を行っていく。

議員 ①国や都の補助金等に関する「補助金等の獲得」に関する「青梅市の取り組みについて問う」
議員 ①国や都の補助金等に関する「補助金等の獲得」に関する「青梅市の取り組みについて問う」し、どのように情報を集めて利用

活用を検討し、獲得に向けた手続きを行っているのか。
②国や都以外の補助金や助成金等についてはどうか。
③市が自ら提案して獲得すべき助成金等については、どの程度行っているのか。
市長 ①都が毎年作成する区市町村に関する補助等の調べのほか、国からの情報提供等により情報収集を行い、予算積算説明会で示すとともに、時期を逸することなく特定財源の確保に最善の努力を払うことを指示している。
②日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金については、毎年開催される説明会出席して情報収集し、関連部署と情報を共有して、予算要求への反映を検討することとしている。
③青梅の森やハイキングコースにおける修景整備事業、生徒の学力向上対策事業、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略における梅の里再生を契機とした地域活性化に関する地域再生計画事業などの事例がある。

市内中学生の死亡に関してのいじめ問題対策委員会調査部会の調査結果の公表等について問う ひだ 紀子 議員 (みどり)

議員 ①調査部会の調査はどのように行われたのか。
②調査報告書はどのように公表するのか。公表に当たっては、調査に協力した生徒や保護者へ説明し、理解を得ることが必要ではないか。
③いじめの定義の認識について、市は法令のいじめの定義より狭く解釈してはどうか。
④報告を受けた後の取り組みは、教育長 ①第三者委員により、

関係資料の調査および関係者への聞き取り調査を行った。
②遺族の了解をいただいた上で、市ホームページにおいて公表することを考えている。なお、当該中学校では調査結果の説明会を実施している。
③基本的に法令通りだが、小・中学校で行っているいじめ調査の報告範囲では、十分な共通理解が図れていなかったこと等、第三者委員会から指摘を受けた。
④夏季休業中等に教員の研究会を予定するなど、今後、報告書の提言に真摯に対応していく。

「市長への手紙」への対応を問う
議員 ①市長への手紙、市民の声は、29年度は何件届いたか。
②市ホームページでは、公表は3件のみである。積極的に公表していくべきではないか。
③匿名の手紙への対応は、

約2・8倍の回数の講座が開催されている。
②市民センターの備品や機材の充実が求められていると思うが、どう考えるか。
③暑いとき寒いときは早めに入室して準備をしたいなど、市民センター利用者の要望に柔軟に対応するべきではないか。センターにより対応が違っているのではないか。
教育長 ①内容や会場に合わせて開催スケジュールを決定している。福生市の公民館活動についてはよく調査し、良い点は取り入れていきたいと考える。
市長 ②故障や劣化に伴い更新が必要となったものは、予算の範囲内で随時更新している。
③使用時間の前に空きがある場合には、早めの入室を認めるなど、臨機応変な対応をしている。

わかぐさ公園の整備方針について問う
議員 ①整備方針を伺う。
②多額の経費がかかる噴水施設は全国的に縮小傾向である中、休止中の噴水をポップジェット式親水施設に改修する理由は、
③整備に当たり、補助金の活用を模索すべきと考えるがどうか。
市長 ①遊具等施設の適正な維持管理に努めるとともに、生い茂った樹木の計画的な整理伐採を進めるなど、利用者が安全に利用できるよう優先順位を考えながら進めることとしている。
②こどもプールに入れない幼いお子さんにも、水に触れ楽しんでいたきたいと考え、合わせて噴水周辺を整備することで、より広い年齢層の方々にも楽しんでいただけるかと考えている。
③都の総合交付金を活用して、整備する予定である。
「他の質問：青梅市の土地問題について問う—所有者不明化・相続・登記の問題—」

子ども食堂の支援について問う

山内 公美子 議員 (公明)

議員 ①子ども食堂の実施状況について伺う。

②国や都の補助制度はあるのか。③多世代交流の場となる子どもの居場所、子ども食堂に対し、市としてどう支援していくのか。④市のフードドライブ事業で集

められた食材を提供することはできないか。

市長 ①30年1月現在、多摩26市中22市において、実施施設数76カ所、実施主体は、民間団体等33カ所、NPO法人32カ所、社会福祉法人7カ所、行政機関4カ所である。青梅市では現在2カ所で実施されている。

②国の地域子どもの未来応援交付金、都の子どもの居場所創設事業補助金および子ども食堂推進事業補助金がある。

③運営に関する問題点や課題について先進自治体の情報収集を行う。また、市が目指すおうち版多世代交流センター事業との融合について研究を進めるとともに、都の補助金による

2025年医療介護の需要増を見据えて

議員 ①在宅医療・介護連携事業の進捗状況について伺う。

②連携を図れる体制強化が早期に必要な検討をどうするか。③医療・介護資源マップを作成し市民へ情報提供はどうか。④看護小規模多機能居宅介護サービスの定員について、柔軟

な対応が必要ではないか。⑤老健におけるショートステイの利用を促進してはどうか。

市長 ①国から示された8事業について、既に4事業を実施し、今年度2事業を開始する。残る2事業についても、関係団体等との連携・調整を図りながら、具体的な検討を進めていく。

②③今後、検討していく。④事業所からの相談に随時対応し、都度適切に判断していく。⑤⑥引き続き制度の周知に努め、提供体制の構築に努めていく。演習等の実施など詳細な情報についても掲載してはどうか。

乗り合いタクシーの導入など、公共交通の充実を

藤野 ひろえ 議員 (共産)

議員 ①青梅市公共交通協議会での、乗り合いタクシー導入についての議論はどうであったか。

②多摩地域のコミュニティバス等の導入状況を伺う。また、公共交通への負担額の場合はどうか。

市長 ①公共交通不便地域対策の千ヶ瀬河辺下通りの新たな公共交通の検討において、運行形態の一つの案として協議した。

②コミュニティバスは、多摩地域の25の市町村で導入されている。乗り合いタクシーについてはさまざまな形態があり、一概に把握できない。なお、青梅市は多摩地域の市町村と比較して多額の負担を行っており、引

子どもや高齢者などに温かい公共施設のあり方について問う

議員 ①沢井および小曾木保健福祉センターは、廃止せずに、高齢者の地域の居場所として存続させるべきではないか。

②永山ふれあいセンターおよび釜の淵市民館の閉鎖は、問題があると考えられる。利用者への説明や合意形成はどのように行っていくのか。

③学校施設の個別施設計画策定については、学校現場と地域の意見を反映して検討していくべきと考えるがどうか。

市長 ①市の将来を見据えた中で、公共施設の再編や廃止を行うものであり、理解を賜りたい。

④青梅市公共施設等総合管理計画の策定過程において、ぶらっとカフェの開催、無作為抽出による市民アンケートの実施、市民と市長との懇談会での説明

横田基地へのオスプレイ配備と危険な訓練への対応を問う

田中 瑞穂 議員 (共産)

議員 ①横田基地へのオスプレイの前倒し配備と、羽村市で発生したパラシュートの落下について、市長の見解を伺う。

②市ホームページの横田基地に関する情報は、トップページからすぐに見つけられるよう工夫すべきと考えるがどうか。また、

な対応が必要ではないか。⑤老健におけるショートステイの利用を促進してはどうか。

市長 ①国から示された8事業について、既に4事業を実施し、今年度2事業を開始する。残る2事業についても、関係団体等との連携・調整を図りながら、具体的な検討を進めていく。

②③今後、検討していく。④事業所からの相談に随時対応し、都度適切に判断していく。⑤⑥引き続き制度の周知に努め、提供体制の構築に努めていく。演習等の実施など詳細な情報についても掲載してはどうか。

ごみ対策について問う—ごみの減量・分別、マイバッグの推進、不法投棄、資源回収など—

みねざき 拓実 議員 (共産)

議員 ①資源になる紙類の分別を推進するための取り組みを伺う。また、市が回収した雑誌・雑紙の売却収入はどの程度か。

②高齢者世帯へのごみ指定収集袋引換券の給付について、対象範囲を広げてはどうか。

定していることから、今後、中学校校長会と協議していく。また、文部科学省の通知でも服装への配慮について示されており、市としても対応していきたい。

飼い主のいない猫に対する取り組み強化を

議員 ①青梅市飼い主のいない猫対策事業補助金交付要綱の改正により補助対象団体の要件の見直しが行われ、新規参加が難しくなった。多くの市民が参加できるようにすべきではないか。

②団体と地域住民がもめている場合などには、市も説明に行くべきと考える。市の責任と役割をどう捉えているのか。

③ボランティア団体と協働して、ガイドラインを作成してはどうか。

市長 ①飼い主のいない猫を減らすためには事業の継続性が重要と捉えており、一定期間の活動実績が必要との判断から、見直しを行ったものである。

②ボランティア活動は、自発的・組織的・継続的に行う活動であ

③食品用白色トレイは再利用しなくなったのか。ペットボトルと同様に戸別収集してはどうか。

市長 ①今年度、雑紙収集啓発袋を作製して全世帯に配布し、分別の徹底を図っていきたくと考えている。なお、28年度の売却収入は約2800万円である。

②現時点で見直し予定はない。③容器包装プラスチックごみとして集められ、リサイクルセンターで手選別により回収し再生



子ども食堂について問う

議員 ①子ども食堂が全国に広がっているが、背景には子どもの貧困の問題がある。青梅市における実態をどう捉えているか。

市長 ①貧困の連鎖によって子どもたちの将来が閉ざされることのないようにすることが大切であると考えている。今年度

が、増設についての考えを伺う。④大雨により災害の恐れがある場合、防災行政無線を活用し、雨量情報を地区ごとにお知らせしてはどうか。

雨量計について問う

議員 ①市内の設置場所について伺う。いつ、どのように設置されたのか。

②年間維持経費を伺う。また、新設に係る費用はどの程度か。

③成木市民センターおよび沢井市民センターに設置すると、概ね市全域をカバーできると思う

④特定の地区への周知が必要な場合には対応を図っていく。

土砂災害特別警戒区域について問う

山本 佳昭 議員 (自民)

議員 ①土砂災害警戒区域および土砂災害特別警戒区域の指定はどのように決められ、どのように周知されるのか。

②指定の見直しは行われるのか。③土砂災害から身を守るために、市民に知っておいていただきたい

雨量計について問う

議員 ①市内の設置場所について伺う。いつ、どのように設置されたのか。

②年間維持経費を伺う。また、新設に係る費用はどの程度か。



審議された議案と議決結果

[○…賛成、×…反対]

区分	議案番号	議案件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	賛成	反対	
				阿部悦博	迫田晃樹	山田敏夫	みねざき拓実	田中瑞穂	藤野ひろえ	ひだ紀子	片谷洋夫	大勢待利明	工藤浩司	榎澤誠	湖城宣子	島崎実	天沼明	鴨居孝泰	山崎勝	久保富弘	小山進	山本佳昭	山内公美子	鴻井伸二	結城守夫	野島資雄	下田盛俊			
5月招集議会 市長提案 6月定例議会	議1	青梅市表彰条例にもとづく表彰の執行について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0	
	議2	平成30年度青梅市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議3	青梅市議会議員および青梅市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議4	青梅市市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議5	青梅市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議6	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議7	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議8	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議9	市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議10	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議11	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0
	議12	青梅市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	0

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ（無所属9人、自民党2人）、公明…公明党（5人）、改フ…改革フォーラム（無所属3人、国民民主党1人）、共産…日本共産党青梅市議団（3人）、みどり…みどりのオンブズマン（1人）]
※氏名の上の番号は、議席番号です。

青梅市議会では、本会議の様子をインターネットで生中継および録画中継により配信しており（録画中継は本会議終了後おおむね1週間で公開）、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。会議録および委員会録についても会議録検索システムで閲覧することができます。ぜひご覧ください。 [青梅市議会](#) で [検索](#)

東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会から
◆第10回委員会（6月15日）
東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用の検討状況についておよび青梅駅前地区市街地再開発事業について、行政側から説明を受けた後、質疑を行った。

総合病院建替特別委員会から
◆第6回委員会（6月19日）
新病院基本設計概要書（案）について、パブリックコメントによる意見募集についておよび新病院基本設計説明会について、行政側から説明を受けた後、質疑を行った。

全員協議会から
6月15日に開催された全員協議会の市長提出事項は次のとおりです。
◆第17回姉妹都市ボツパルト市への青少年友好親善使節団派遣事業について
◆「いじめゼロ宣言・子ども議会」の開催について
◆青梅市公共施設等総合管理計画について
◆青梅市情報公開条例および青梅市個人情報保護条例の改正について
◆青梅市を当事者としてた訴訟事件の概況について
◆青梅市生物多様性地域戦略の策定について
◆青梅市における福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針の一部改正について
◆平成30年度における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成の取組について
◆青梅市立総合病院を当事者とした訴訟事件の概況について

■平成30年市議会定例会9月定例議会会議予定

月日（曜日）	時間	会議	備考
9月6日（木）	午前10時	本会議	議案審議、一般質問等
9月7日（金）	午前10時	本会議	一般質問
9月10日（月）	午前10時	本会議	一般質問
9月13日（木）		常任委員会	
9月14日（金）		常任委員会	
9月18日（火）		常任委員会	
9月19日（水）	午前10時	予算決算委員会	
	予算決算委終了後	全員協議会	
9月20日（木）	午前10時	本会議	委員会審査報告等
9月21日（金）	午前10時	予算決算委員会	
9月25日（火）	午前10時	予算決算委員会	
9月26日（水）	午前10時	予算決算委員会	
9月27日（木）	午前10時	予算決算委員会	
10月3日（水）	午前10時	本会議	委員会審査報告等

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか青梅市議会ホームページ（<http://www.kaigiroku.net/general/omesi/>）でご確認ください。市議会は公開されていますので、原則、どなたでも傍聴することができます。傍聴のお問い合わせ：議会事務局（内線2202）

政治家、有権者の方々へ
政治家が、選挙区内の人にお金や物を贈ることは法律で禁止されています。また、有権者が政治家に寄付を求めることも禁止されています。

**贈らない
求めない
受け取らない**

例えば▼地域の行事やスポーツ大会、自治会の集会、盆踊りや旅行などの催し物へのお祝いや飲食物の差し入れ▼お祭りへの寄付や差し入れなど。

青梅市議会災害対応訓練を行いました
市議会では大規模災害が発生した場合に迅速かつ適切な対応を図るため災害対応方針を定め、災害対応訓練を行っています。昨年度は台風災害が発生した想定で行いましたが、今年度は6月20日に地震が発生した想定で行いました。参加訓練の他、東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町へ行政視察を行った環境建設委員会が視察報告を行い、市議会として災害対応に関する知識を共有しました。



環境建設委員会の視察報告を聞く議員達